

行われた質疑から

予算審査特別委員会

平成25年第1回定例会では、25年度予算の審査を行いました。予算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（菊池嘉穂委員長、佐藤修孝副委員長）を設置し、3月7日から14日までの6日間で審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

総務部門

質問 奥州万年の森づくりについて、どのような構想を持っているか。

答弁 平成20年度から5年間、市民の参加で3haに14種類22、500本を植樹した。この森は自然の保全、市民の憩いの場、学習の場などとさまざまな活用を考えている。今後も大きな面積に市民の参加や企業による森づくりの植樹を行い、管理等を含めて出来るだけ費用をかけずに進めていきたい。

質問 地区センターを建設する際、太陽光発電等

の省エネや震災等の避難場所としての役割を担った建物を建設する計画はないか。

答弁 太陽光発電を設置した藤里地区センターや最近建設した岩谷堂地区センターではLED電灯を設置した。質問の趣旨を勘案して検討していきたい。

質問 胆沢ダム学習館はダムに関連したPRや地域の子供たちへの学習に寄与したもの、いわゆるダムに付随した建物で市に無償で払い下げるべきものと考えているが。

答弁 買取り予算400万円を計上しているが、

無償で払い下げるよう交渉する。

質問 衣川区の黒滝温泉にある木質バイオマスによるエネルギー源は、実験段階から次の段階に進化することが必要と考えるが。

答弁 具体の行動として、衣川区の国見平温泉で地元の子供を使った木質バイオマスエネルギーを、平成25年度から3年間の計画で進めようとしている。

質問 地消地産の立場は、消費者優先という今後の農業のあり方を示していると考えが予算の計上があるのか。

答弁 予算計上はしていない。市として地域の6次産業化のビジョンを作る計画作成の経費を見込んでの予算である。

教育厚生部門

質問 学校施設工事は安全に対策を

答弁 水沢南中学校の校



水沢南中学校

舎大規模改造事業は。

答弁 平成25年度・26年度2ヶ年で工事を行う。現在、実施設計を作成中である。平成25年度は北校舎を中心に整備を行い、トイレ改修、床の張り替え、水道の配管布設替え等を行う。さらに防火戸・放送設備の改修等も考えている。平成26年度は中校舎を中心に水道給水管の布設替え、防火戸の改修、屋上の防水シートの張り替え等を行う。また特別教室等は、床の張り替え、屋根外壁の補

修等を行う。

質問 仮校舎を建設して、生徒を通わせながらの工事となるが、シックスクルールの対策は。

答弁 マニュアルに沿って対策を講じる。囲い、シート等できつちりと遮断し、化学物質・臭気等が外部に漏れないように対策を講じる。特に臭気を伴う作業工程は、夏休み・冬休みに工事を行う。工事完了後は、化学物質の放散・養生期間を十分に置いて、*TVOC測定をしつかり行い、安全確認をし、供用開始をしたい。

用語解説

【*TVOC】
VOCとは、揮発性有機化合物のことですが、TVOCはVOCのトータル量を表したものです。室内中の化学物質は一種類だけではなく、室内中に存在するVOCは数百種類にもおよぶとされています。

質問 出産育児一時金は。

答弁 産科医療補償制度の掛金3万円を含む、42万円を支給している。

質問 民生委員のなり手がなくて、苦勞して選任されていると思うが、民生委員の数は。

答弁 10万人以上を超えた都市は170、360世帯ごとに1人という国の配置基準がある。合併直後、激変緩和措置を設け、合併前の人数となっている。平成20年度の改選時期には、県から削減要請があったが、要望を重ねた結果、現状維持となっている。平成25年12月から、改選時期を迎えるが、現状の民生委員・児童委員291名で県に要望している。

質問 保健推進員の廃止に伴い、検診時受診率の推移は。

答弁 保健推進員は平成21年度から廃止しているがそれ以降の検診の受診率は、大きく低下したという状況はない。国の目標とする、がん検診の受診率50%には、なかなか到達できる状況にはない。